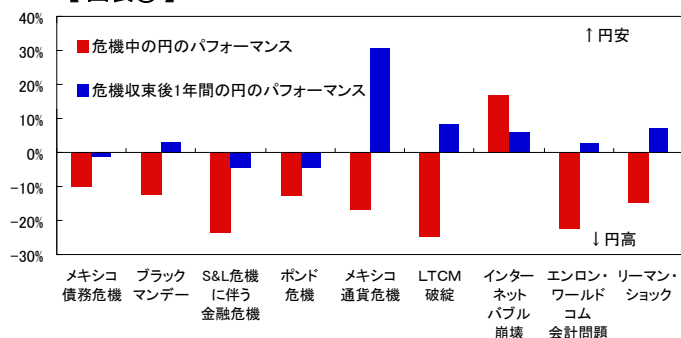


金融危機収束後の円相場の特徴

- ✓ 過去における金融危機中の円相場は円高傾向かつ、相場の振れが大きくなる傾向がある。
- ✓ 金融危機収束後1年間の円相場は円安傾向かつ、相場の振れが小さくなる傾向がある。
- ✓ 換言すると、円は避難通貨としての特徴があるといえる。

過去における金融危機中のドル／円のパフォーマンスは平均で約－13%の円高、かつ相場の振れが大きくなる特徴がありましたが、危機収束後の1年間は平均で約5%の円安、かつ相場の振れが小さくなる傾向があります。リーマンショック後の金融危機は最悪期を脱したとの声が強くなっていますが、今後も過去の特徴を踏襲するのかが要注目です(図表①参照)。

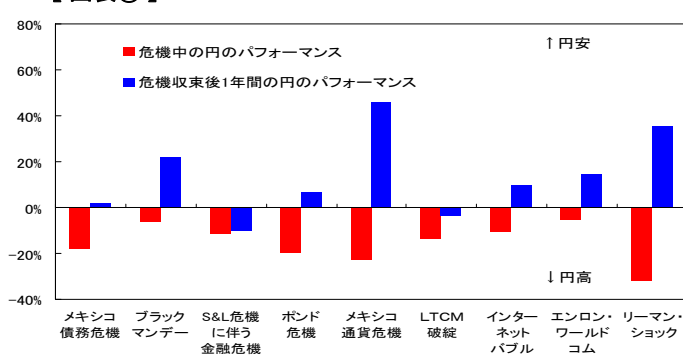
【図表①】



出所：ブルームバーグ

過去における金融危機中の豪ドル／円のパフォーマンスは平均で約－16%の円高、かつ相場の振れが大きくなる特徴がありましたが、危機収束後の1年間は平均で約14%の円安、かつ相場の振れが小さくなる傾向があります。豪ドルはハイリスクハイリターン通貨と考えられていますが、その特徴が出ているようです。(図表③参照)

【図表③】

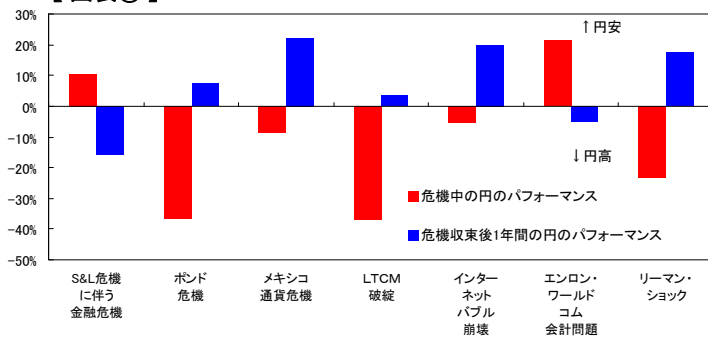


出所：ブルームバーグ

過去における金融危機中の南アフリカランド／円のパフォーマンスは平均で約－17%の円高、かつ相場の振れが大きくなる特徴がありましたが、危機収束後の1年間は平均で約4%の円安かつ、相場の振れが小さくなる傾向があります(図表⑤参照)。

過去における金融危機中のユーロ／円のパフォーマンスは平均で約－11%の円高、かつ相場の振れが大きくなる特徴がありましたが、危機収束後の1年間は平均で約7%の円安、かつ相場の振れが小さくなる傾向があります。リーマンショック後の金融危機は最悪期を脱したとの声が強くなっていますが、今後も過去の特徴を踏襲するのかが要注目です(図表②参照)。

【図表②】

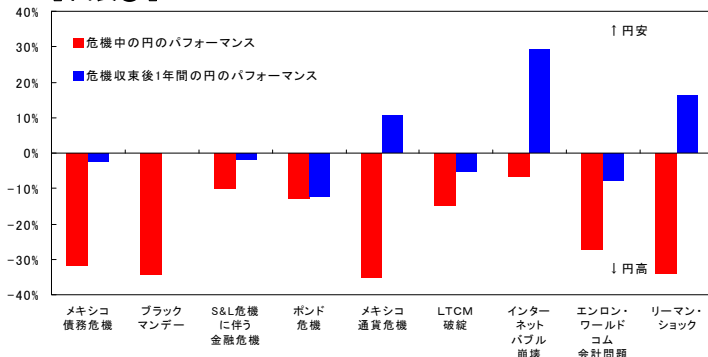


(注) 1999年以前のユーロの値は理論値を使用

出所：ブルームバーグ

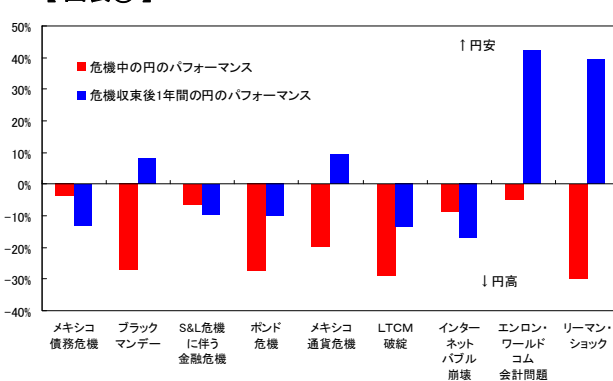
過去における金融危機中のメキシコペソ／円のパフォーマンスは平均で約－23%の円高、かつ相場の振れが大きくなる特徴がありましたが、危機収束後の1年間は平均で約3%の円安かつ、相場の振れが小さくなる傾向があります(図表④参照)。

【図表④】



出所：ブルームバーグ

【図表⑤】



出所：ブルームバーグ

ご留意いただきたい事項

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。
- 投資信託は値動きのある資産を投資対象としており、基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割込むおそれがあります。ファンドによって投資対象資産や投資規制、投資対象国などが異なるため、リスクの内容や性質が異なります。また、投資信託のお申込時、保有期間中、およびご換金時には費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料に記載されている各指数、統計資料等の著作権・知的財産権その他一切の権利は、各算出先、公表元に帰属します。
- 当資料に記載されている内容は発行日現在のものであり、今後予告なく変更される場合があります。投資に関する最終決定はお客様ご自身でご判断ください。
- 当資料のグラフ・数値等は過去の実績であり、将来の市場環境の変動や投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号
加入協会:(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

